

おとなりさん通販部 × 雑木囃子

全員ライバル。

「雑木囃子」がつくる古き、良き、新しき伝統。

箱根、小田原を代表する伝統工芸「寄木細工」。そんな歴史ある寄木の世界で、伝統の技術を学びながら、日用品や、ファッション、楽器、玩具など、色々なアプローチでそれぞれの考える寄木細工を生み出す若ものたちがいた。



とても仲がいい雑木囃子のメンバー。撮影の合間に、この後すぐに迫っていた渋谷ヒカリエでの展示の段取りを楽しそうに相談していた。ちなみに、リーダーは順番制、次期リーダーは中央の小島さん。

箱根・小田原の伝統工芸、寄木細工。その寄木細工の若手の職人たちがつくったグループがある。その名も「ゾウキバヤシ」という。聞き慣れた言葉だが、漢字は「雑木囃子」と書く。「雑木林」いろいろな樹種の混生林と、「お囃子」リズムや音楽を掛け合わせた、彼らがつくった造語で、寄木細工の作られる様子をあらわすと同時に、寄木を使った新たな試みや、展示を通じて寄木細工や小田原、箱根への興味を持ってもらうきっかけになりたいという彼らの活動理念をあらわし

ている。現在メンバーは6人、平均年齢約32歳という若さだ。すでに独立して工房をかまえているもの、職人として雇われながら、空いた時間で自分の作品をつくるもの、立派な工房で木匠の跡取りなど、立場も様々だ。最初は若木が寄り添うように結成された雑木囃子も今年で活動10年目。今や「超」がつく売れっ子だ。大きな転機になったのは3年

目。あるプロジェクトで世界的に著名なプロダクトデザイナー、喜多俊之さんを講師に招き、そこで「世界に通用する商品をつくること」をコンセプトに雑木囃子のメンバーが各自三ヶ月に一回新作をつくり、喜多さんから具体的なアドバイスももらいながらデザインを何度も練り上げるといふことを経験したのだ。この機会を得たことで、デザイナーやアイデアの力が鍛えられた。

6年目には喜多さんの推薦を受け「メゾン・エ・オブジェ」(パリで行われる欧州最大のインテリアとデザインの国際見本市)に出品。その後、毎年注目度を高めているが、ひとりずつ話を聞いてみると本人たちは「まだまだ」と、いたって冷静。そこには、常に仲間でありライバルでもあるメンバーの存在、そして大きな目標である親方たちの背中があるようだ。

多俊之さんを講師に招き、そこで「世界に通用する商品をつくること」をコンセプトに雑木囃子のメンバーが各自三ヶ月に一回新作をつくり、喜多さんから具体的なアドバイスももらいながらデザインを何度も練り上げるといふことを経験したのだ。この機会を得たことで、デザイナーやアイデアの力が鍛えられた。

雑木囃子さんに10の質問

- ①生まれた年
- ②出身地
- ③作風得意なもの
- ④代表作
- ⑤好きな木の種類
- ⑥好きな寄木の模様
- ⑦小田原箱根のいいところ
- ⑧師匠
- ⑨今後の抱負
- ⑩好きな食べ物



篠田さんの勤める「土屋木工所」にて。この日は日曜日で自分の作品をつくっていた篠田さん。



石川さんの勤める「浜松屋」の実演コーナー。石川さんは親方である石川一郎さんの甥。



太田さんのお店「OTAMOKKO」のとなりにある工房。ご本人曰く最小の寄木細工工房。



露木さんは露木木工所の四代目。京都の伝統工芸の専門学校で京指物を学んだあと、家業を継いだ。



小島さんの勤める「木路」の工房にて。日曜だったので、やはり小島さんも自分の作品づくりに。



清水さんのお店「るちまのやどりぎ」の前で。ちまたまた来ていた大家の玉之輔さん(92歳!)と。

篠田英治さん

- ①1982年生まれ
- ②神奈川県相模原市

- ③緻密な細工
- ④小さい秘密箱やオルゴール
- ⑤樺神代、ローズウッド
- ⑥麻の葉
- ⑦静かだが少ない所、お祭りや骨董市があるのも楽しい。
- ⑧金指善夫さん、土屋太一さん
- ⑨「雑木囃子」という名前が先行し個人で感じるプレッシャーもあるが、もつとがんばって期待に応えていきたい。
- ⑩親子丼、ピザ



ストライプとすっきりとした幾何学的な形が、繊細な篠田さんのデザインらしい一輪挿し。「Buddy」2,160円



アットランダムな木の色合いが息をのむほど美しい石川さんの「ランチョンマット」。6,480円
www.hamamatsuya.co.jp



太田さんならではの、モダンでありながら、ぬくもりの感じるデザイン。「おはぎばこ」(小)10,800円、(中)12,960円
ota-mokko.com



露木さんの代名詞と言える、斜めに大胆に寄せたラインが魅力の「寄木のぐい呑み」。(ななめ)各10,800円
www.yosegi-g.com



雑木囃子の中でも、さらにダントツに若い、寄木新人類的な小島さんの感性を日常的に楽しめる「筆箱」。各5,400円
ameblo.jp/small-island36/



自身も木工バンドのメンバーの清水さんが見つかる、かわいらしい「カスタネット」。3,456円
luthier43.info

- ①1983年生まれ
- ②小田原市久野
- ③伝統の模様だけではなく、時代にあつた模様の開発。
- ④ワイングラスや、トレーなど
- ⑤ウォールナット、レンガス
- ⑥市松
- ⑦海、山があつて、都会へのアクセスマもよく、観光地なので人が集まる所。
- ⑧石川一郎さん
- ⑨「自分が作った寄木を通して、今まで興味なかった人へも興味を持ってもらえるようにがんばりたい。」
- ⑩味噌ラーメン

- ①1979年生まれ
- ②埼玉県
- ③毎年ひとつの模様をテーマに決めて、つきつめて制作している。
- ④ポタン
- ⑤朴
- ⑥二崩し
- ⑦どこかゆつたりりのんびりしている人柄
- ⑧露木孝一さん
- ⑨「日々こつこつ、なれずに、ぶれずにもつとづくりをしていきたい。」
- ⑩貝だくさん味噌汁

- ①1979年生まれ
- ②小田原市早川
- ③ひとつの模様を大胆に寄せる所。繰り返しては無く、色味もシンプルで全体でみせる。
- ④「えん」(丸皿)、「寄木抹茶碗」
- ⑤ウォールナット、桂神代、苦木
- ⑥変わり市松、麻の葉、七宝矢羽根
- ⑦自然が豊かで住みやすく、城下町として商業も盛んな所。
- ⑧露木清次さん(祖父)、清勝さん(父)、内藤邦雄さん、内藤政一さん
- ⑨「寄木の伝統を守りつ、もつとわくわくするようなものを作りたい。」
- ⑩カレー、甘いもの

- ①1989年生まれ
- ②神奈川県厚木市
- ③実用品や身につけるもの
- ④バックル
- ⑤朴
- ⑥葉っぱ模様
- ⑦海、山がある
- ⑧露木孝一さん
- ⑨「一人前になれるように、日々の仕事をがんばります。」
- ⑩ラーメン、カレー、唐揚げ

- ①1980年生まれ
- ②新潟県
- ③寄木を通してコミュニケーションが生まれるような作品を作っている。
- ④シエーカー、「たまちゃん」(玩具)
- ⑤槐(えんじゅ)
- ⑥色木編模様
- ⑦空気感、人と人の距離感がちょうど良い。
- ⑧金指勝悦さん
- ⑨「雑木囃子、親方、いぶき会、バンドなど出会いに恵まれている。これからも皆さんと楽しくがんばっていききたい」
- ⑩ビール

現リーダーの石川さんは「雑木囃子」として活動をはじめて10年たち、今まで見えていなかったものが見えるようになった感覚があります。その分親方たちのすごさも、よりわかるようになりました。これからも今までの色々な経験をいかして、もつともつと寄木細工の魅力を発信していきたいです。」と話す。次の10年、彼らがどんな寄木を見せてくれるのか、これから楽しみだ。



このページに掲載されている商品の一部をホームページ「おとなりさん通販部」で販売しております。
<http://otonarisan.theshop.jp/>

今回の雑木囃子さんの商品を集めた「おとなりさんコーナー」を「器・生活道具 日和」さんに期間限定で作っていただけることになりました。掲載された商品を実際にお手にとってご覧いただけるチャンスです。もちろん、その場で販売も行いますので、ぜひお出かけください。

期間 11/1(土)~12/24(水)
*貴重な商品のため数に限りがございます。品切れの場合は、ご了承ください。
*期間中の営業等は日和さんの公式ブログをご参考ください。

器・生活道具 日和
営業時間 11:00~17:30
木曜定休 (仕入れのため不定休あり、ブログをご覧ください)
小田原市浜町3-1-22(かまぼこ通り)
電話番号 0465-22-0226
ホームページ <http://hiyorijp.com>
雑木囃子メンバー、太田憲さんの「OTAMOKKO展」を開催いたします。期間12月6日~15日。14日は、太田さんによるワークショップも開催致します。

